

MCollective のコマンド(mco コマンド)

基本ルール

mco コマンド オプション [対象サーバ指定] [出力結果指定]

● コマンド

#使用できるコマンド一覧

deploy# mco

#使用できるコマンドのヘルプ

deploy# mco {command} help

● オプション

各コマンドのヘルプ等で確認して下さい。

● 対象サーバ指定

各サーバが持つfacts情報で絞り込む。絞り込み条件文字列には正規表現も使える。

-F {facts名}={絞り込み条件文字列}

各サーバが持つ情報で絞り込む。絞り込み条件文字列には正規表現も使える。

-I {絞り込み条件文字列}

● 出力結果指定（重複指定可能）

コマンド実行者が理解しやすい形式で表示する。

-v

JSON形式で表示する。コマンドによってはJSON形式ではない場合がある

-j

ロードバランサの nginx を再起動する

```
deploy# mco service nginx restart -F fqdn=/^lb/
```

監視サーバの Nagios を再起動する

```
deploy# mco service nagios3 restart -F fqdn=/^monitor/
```

全 Web サーバの tomcat を再起動する

```
deploy# mco service tomcat6 restart -F fqdn=/^web/
```

全サーバの GangliaMonitor を再起動する

```
deploy# mco service ganglia-monitor restart
```

Web サーバの IP アドレスとホスト名を表示する

```
deploy# mco facts ipaddress -F fqdn=/^web/ -v
```

Web サーバで puppet を実行する

```
deploy# mco puppetd runonce -F fqdn=/^web/
```

Web サーバの Apache アクセスログを最新 20 行表示する

```
deploy# mco shellcmd -cmd=" tail -20l /var/log/apache2/access.log"  
-F fqdn=/^web/ -v
```